



平成31年2月27日

報道機関各位

「寒冷地ものづくりラボ（MONOLABO）：モノラボ」 開所式について

北海道立総合研究機構（道総研）では、この度、工業試験場敷地内に「寒冷地ものづくりラボ（通称：MONOLABO（モノラボ）」を新築し、4月より運用を開始いたします。

この施設は、本道のような積雪寒冷な環境にも対応するIoT関連製品の開発を支援する拠点として整備しました。

国内新規格対応の電波暗室やシールドルーム、JIS規格の試験が可能な防水試験室を完備し、同時に工業試験場研究棟内に改修整備いたしました低温実験室と合わせて活用することで、道内企業のIoT製品等の開発、生産性の向上や省力化等を支援してまいります。

「モノラボ」開設にあたり、下記により「開所式」を開催いたしますので、お知らせします。

<開所式について>

- （1）日時：平成31年3月12日（火）11:00～12:00
- （2）場所：工業試験場研究棟1F 研修室及びモノラボ
（北区北19条西11丁目）
- （3）出席者：国、道、経済・業界団体等の関係者、その他（報道関係者）
- （4）概要

11:00～11:20	①道総研挨拶：理事長 ②来賓挨拶：北海道知事、北海道経済産業局長、道経連会長（予定）	研究棟1F 研修室
（場所移動）	来賓・報道の皆様には会場の移動をお願いします。	
11:25～12:00	③テープカット：道総研、道、経産局、道経連、機械工業会 ④内覧	モノラボ
セレモニー終了後 （12:00頃）	報道機関向け説明 （多少時間が前後いたします。ご了承ください。）	モノラボ

◎報道（取材）に当たってのお願い

・多くの皆様に新しい設備を知っていただけるよう、当日の取材についてよろしくお願いたします。

なお、機器搬入中のため開所式前日までラボ内の撮影は対応できませんので、あらかじめご承知おき願います。

◎同時配付先

道政記者クラブ

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

産業技術研究本部 総務部長 山本 厚志

TEL:011-747-2330（直通）

※平日8:45～17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです。



2019年3月12日 開所

北海道立総合研究機構（道総研）では、工業試験場敷地内に「寒冷地ものづくりラボ（MONOLABO）」を新築し、4月より運用を開始いたします。

この施設は、国内新規格対応の電波暗室やシールドルーム、JIS規格の試験が可能な防水試験室を完備しており、同時に工業試験場研究棟内に改修整備いたしました低温実験室と合わせて活用することで、IoT製品等の開発をめざす道内企業を支援してまいります。

この度の「モノラボ」開設にあたり、下記のとおり開所式を開催いたします。

- 日 時 平成31年3月12日（火） 11:00～12:00
- 場 所 産業技術研究本部 工業試験場（研究棟1F研修室、寒冷地ものづくりラボ）
- 出席者 国、道、経済及び業界団体等の関係者、工事関係者、報道関係者 等
- 概 要 11:00～11:20 セレモニー（研究棟1F研修室）

- ・主催者挨拶 道総研 理事長
- ・来賓挨拶 道、道経産局、道経連

<移動>

- 11:25～11:30 テープカット（モノラボ正面玄関前）
 - ・道総研、国、道、道経連、機械工業会
- 11:30～12:00 施設等説明（モノラボ、低温実験室）

-
- 12:00～13:00 報道機関向け説明（※来賓者向け内覧終了後）

寒冷環境対応型IoT製品等の開発支援拠点整備事業

■事業費 5億48百万円

■財 源 道補助(生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金事業:内閣府)

寒冷地ものづくりラボ(モノラボ)の新築整備	
	<p>■構造 鉄筋コンクリート造平屋建</p> <p>■延床面積 約400㎡</p> <p>■室構成 ・電波暗室(3m法^{※1})、シールドルーム(2室) ・防水試験室・測定室 ・職員控室</p> <p>■特徴 電波暗室、防水試験室の開口部をシャッターとし、大型物の評価も可能</p> <p>※1) 電磁ノイズ量を距離3mにおける電磁波の強度で評価する方法</p>
<p>電波暗室、シールドルーム2室</p> <p>電波暗室</p>	<p>■特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際基準CISPR16を満たす道内初の3m法電波暗室 ・VCCIなどの国内外の主要なEMC^{※2}規格に対応 ・車載機器ノイズ評価(国際規格準拠)が可能 <p>■用途</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器の電磁ノイズの発生量や耐性を評価 <p>※2) 電磁ノイズにより誤動作やデータ破損が起きない様にするために、電子機器に求められる性能と、その測り方を取り決めた規格</p>
<p>防水試験装置</p>	<p>■特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JIS規格に対応した道内初の試験装置 ・製品に対し、あらゆる方向からの暴噴水^{※3}でも防水(保護)されているか、の評価が可能 <p>■用途</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風雨下の電子部品、食品加工機械等の防水評価 <p>※3) 毎分100リットルのジェット水流</p>

低温実験室の改修	
<p>低温室(27㎡)2室</p>	<p>■特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低温環境下で機器動作が試験できる道内公設試験研究機関で唯一の施設 ・設定温度範囲 室1(+5~-20℃)、室2(-5~-30℃) ・間口が広く(150cm)、大型の試験対象物にも対応可 <p>■用途</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い室内のため、製品の機器動作評価のほか、材料の衝撃、損傷試験や状態変化観察等が実施可能